

今後の「AM局の運用休止に係る特例措置」 に向けて

2024.3.5

「ワイドFM（FM補完放送）対応端末普及を目指す連絡会」

「ワイドFM（FM補完放送）対応端末普及を目指す連絡会」

「ワイドFM（FM補完放送）対応端末普及を目指す連絡会」

- TBSラジオ、文化放送、ニッポン放送在京3社を幹事局として、「**FM補完放送（ワイドFM）対応受信端末の普及**」、及び、「**FM補完放送（ワイドFM）の周知広報**」、さらには、『**将来のAM放送休止＝FM転換**』を目指す全国レベルの組織

- 本連絡会には、**全国の民放AM全47局の参加**、加えて、**主要ラジオ端末メーカー、自動車メーカーの登録**により、FM補完放送が本格化した、2015年3月2日に発足



● 参加ラジオ局

北海道放送／STVラジオ／青森放送／IBC岩手放送／秋田放送／山形放送／東北放送／ラジオ福島／栃木放送／茨城放送／TBSラジオ／文化放送／ニッポン放送／アール・エフ・ラジオ日本／山梨放送／信越放送／新潟放送／北日本放送／北陸放送／福井放送／静岡放送／CBCラジオ／東海ラジオ放送／岐阜放送／和歌山放送／京都放送／MBSラジオ／朝日放送ラジオ／大阪放送／ラジオ関西／RSK山陽放送／中国放送／山陰放送／山口放送／四国放送／高知放送／西日本放送／南海放送／RKB毎日放送／九州朝日放送／長崎放送／熊本放送／大分放送／宮崎放送／南日本放送／ラジオ沖縄／琉球放送

● 登録端末メーカー／自動車メーカー

- ソニーホームエンタテインメント&サウンドプロダクツ、東芝エレクトロニクス、パナソニック、三菱電機、JVCケンウッド、パイオニア、D&Mホールディングス、OMデジタルソリューションズ、オンキヨーホームエンターテインメント株式会社、アルプスアルパイン、フォルシアクラリオン、デンソーテン、ハーマンインターナショナル、ビステオン・ジャパン、オーム電機、ELPA 朝日電器、ツインバード、ホーチキ、サン電子、芝浦電子工業、日本キャストーム、アンドーインターナショナル、リズム時計工業、小泉成器、ベルソス、ダイニチ電子、グリーンハウス、セントラル硝子
- トヨタ自動車、日産自動車、本田技研工業、マツダ、スバル、いすゞ自動車、スズキ、三菱自動車、日野自動車、川崎重工業、日本自動車工業会

● 主な活動

- ◆ FM補完中継局の開設情報を適宜とりまとめ、登録端末メーカー、自動車メーカーに伝達、情報共有を行ないながら、FM補完放送の対応ラジオの生産と販売の促進、対応車載ラジオの標準装備の促進

- ◆ さらに、「プリセットチューニング」の促進にも注力、多くの端末実現を果たした



※「プリセットラジオ」～出荷時に既にラジオ局名と周波数が登録され、チューニングの必要が無いラジオ

- ◆ ビックカメラ、K'sデンキ等、量販店と連携をとり、FM補完放送対応端末（対応FMラジオ）のキャンペーン店頭展開等を実施

- ◆ 「FM補完放送」を「より親しみやすく」「よりわかりやすく」伝えるために、その呼称（ネーミング）を『ワイドFM』とし、同時に、統一ロゴを作成、全国ラジオ局のキャンペーンでの積極的な活用を働きかける他、端末メーカー、自動車メーカー、量販店に対して、対応端末への表示、販売促進等での活用を働きかけてきた



- ◆ 最近の活動としては、「AM局の運用休止に係る特例措置」について適用申請し、2月よりAM放送を休止するラジオ局の情報を、登録端末メーカー、自動車メーカーに伝達、情報共有を行っている



「AM局の運用休止に係る特例措置」の状況

- ラジオ事業者13社は、総務省「AM局の運用休止に係る特例措置」の適用を受け、本年2月1日より順次、「AM局の運用の一定期間休止」を開始

(令和6年1月25日現在)

	放送局	休止予定AM局		
		運用休止(停波)局名	空中線電力(kW)	運用休止(停波)期間
1	(株)IBC岩手放送	田野畑局(中継局)	0.3	2024年2月1日～2025年1月31日
2	(株)茨城放送	土浦局(中継局)	1.0	2024年2月1日～2024年7月31日
		関城局(中継局)	1.0	
3	(株)新潟放送	長岡局(中継局)	0.1	2024年2月5日～2024年9月1日
		柏崎局(中継局)	0.1	
4	北陸放送(株)	七尾局(中継局)	1.0	2024年8月1日×1～2025年1月31日
		山中局(中継局)	0.1	
		輪島局(中継局)	0.1	
5	福井放送(株)	敦賀局(中継局)	0.1	2024年2月5日～2024年8月4日
		小浜局(中継局)	0.1	
6	東海ラジオ放送(株)	下呂局(中継局)	0.1	2024年7月1日～2025年1月31日
		恵那局(中継局)	0.1	
		上野局(中継局)	0.1	
		新城局(中継局)	0.1	2024年8月1日～2025年1月31日
		豊橋局(中継局)	0.1	
7	山口放送(株)	周南局(親局)	5.0	2024年7月29日～2025年1月31日 (5月27日～7月28日段階的減力×2実施)
		須佐田万川局(中継局)	0.3	2024年2月5日～2025年1月31日
		萩局(中継局)	1.0	2024年2月19日～2025年1月31日
		山口局(中継局)	0.3	2024年3月4日～2025年1月31日
		岩国局(中継局)	1.0	2024年4月29日～2025年1月31日 (4月1日～4月28日段階的減力×2実施)
		下関局(中継局)	1.0	2024年5月27日～2025年1月31日 (4月29日～5月26日段階的減力×2実施)
8	南海放送(株)	新居浜局(中継局)	1.0	2024年4月1日～2024年9月30日 (2月1日～3月31日段階的減力×2実施)
		宇和島局(中継局)	1.0	
		八幡浜局(中継局)	0.1	

9	RKB毎日放送(株)	行橋局(中継局)	0.1	2024年2月5日～2025年1月31日
10	九州朝日放送(株)	行橋局(中継局)	0.1	2024年2月5日～2025年1月31日
11	長崎放送(株)	佐賀局(中継局)	1.0	2024年2月5日～2025年1月31日
		唐津局(中継局)	0.1	
		伊万里局(中継局)	0.1	
		有田局(中継局)	0.1	
12	(株)熊本放送	荒尾局(中継局)	0.1	2024年2月5日～2025年1月31日
13	(株)南日本放送	阿久根局(中継局)	1.0	2024年2月1日～2025年1月31日
		川内局(中継局)	0.1	
		大口局(中継局)	0.1	

※1 申請時は4月1日から9月30日までを予定していたが、能登半島地震の影響により延期されたもの。復興の状況により、さらに変更される可能性もある

※2 段階的減力：一週間～数週間程度ごとに影響を確認しながら、数回に分けて送信出力を下げる

● 「AM局の運用休止に係る特例措置」の申請を行わない主な理由

- ・ 現時点で、(経営上の理由から)FM補完中継局の整備が進んでおらず、国が定める「AM放送の運用の休止」の要件(運用休止前の世帯・エリアカバー率を最大限維持する)を満たしていない
- ・ トンネル内再放送のワイドFM対応が進んでいない(特に、多くの山間部道路を抱えるローカル局)
- ・ スポンサー、広告会社に対して、説明説得を行うには時期尚早
- ・ リスナーへのワイドFM(FM補完放送)対応受信機の普及が進んでいない現状での休止は、影響が大きくリスナーの理解を得られない
- ・ 自動車搭載(車載～カーラジオ)のワイドFM対応受信機の普及が十分でない(今後、買い替えが進み普及率～標準装備対応～が9割を越すのは2026年頃と思われる)

今後の「AM局の運用休止に係る特例措置」に向けて

今後、「AM局の運用休止に係る特例措置」が行われた場合のラジオ事業者よりの主な要望

① radiko聴取の世帯カバー率への反映

radiko (ラジオ) : 全国の民放ラジオ99局及び、NHKラジオ（第一放送・FM放送）、放送大学（～2024.4）がインターネット経由により、スマートフォン、パソコンで聴取できるプラットフォーム。同時聴取（サイマル）のほか、過去1週間以内に放送された番組をさかのぼって聴ける「タイムフリー」機能や、エリアを越えて全国のラジオ番組を楽しめる「エリアフリー」機能（有料）などのサービスがある

- AM放送停波に於いての聴取代替手段として、インターネット配信サービスのradikoに期待しています。radikoによる聴取も増えてきていることから、radikoをAM放送の代替手段として認めてほしい

- インターネット配信サービスのradikoについては、5Gの普及や更なる技術革新等により輻輳・遅延等への懸念が払拭される可能性も大いにあることから、早期にケーブルTV同様、FM放送を補完する手段として認められることを要望します

- FM転換においてradikoが「代替メディア」となることが極めて重要だと考えます。これが成されれば支出抑制のみならず、カバーエリア拡大にもつながります

- 世帯カバーの手段について、radikoは輻輳・遅延等を理由に、代替措置の対象外となっておりますが、今後、5Gなどの超高速大容量で低遅延の通信網整備されていくものと期待されます。このため国民の安

全と安心を守る観点からも、FM放送を補完するデバイスの一つとしてradikoの利用も柔軟に対応して頂きたいと強く要望します

- 通信技術は今後も革新・発展を継続する分野であることから、radikoを放送の代替手段とする柔軟な対応を要望します

- FMでの世帯カバーについての要件適用に際しては、radiko等インターネット配信サービスによる代替を対象にすることは、近い将来の5G普及や更なる技術革新等により通信ネットワークにおける輻輳・遅延等への懸念が払拭される可能性も大いにあることから、柔軟な対応を要望します

- radiko等インターネット配信サービスについて、5G普及や技術革新等によって、輻輳、遅延等の懸念が払拭される可能性もあることから、適切な時期にこれをFM放送を補完する手段と認められることを要望。また、認められるための技術要件を示していただくことを要望

② トンネル内再放送のワイドFM(FM補完放送)対応促進への働きかけ

- AMからFMへの移行を推進するための様々な対策の中で、トンネル内での再放送については、放送事業者が施設管理者と調整を行うことは当然ですが、国からも国土交通省、地方自治体、道路事業者等への働きかけを強く要望します

- 現状、トンネル内再放送は中波のみで、FM補完放送は再放送されていません。是非、総務省様からもトンネル施設管理者への働きかけをお願いしたいと

今後の「AM局の運用休止に係る特例措置」に向けて

思います

- 現状では、放送対象地域内も含めトンネル内再放送については、ワイドFMは皆無でAMのみという状況です。総務省は、国土交通省・地方自治体への働きかけを強化して頂き、再放送設備の拡充を図っていただきますよう要望します

- 今後、「AMラジオ無し」の車載機器の増加が予想されることから、道路トンネル等の“遮蔽区間”での受信確保について、総務省は、国土交通省・地方自治体・各道路管理者等との連携を図り、受信・再放送設備の拡充を図っていただきますよう要望します

③ ワイドFM（FM補完放送）対応受信機の普及促進活動への支援

- AM停波の最大の課題でもあるワイドFM対応受信機の普及、及び社会全体への周知について、国民に対してのキャンペーン等、周知広報の継続的な実施や、放送事業者への支援を要望します

- ワイドFM対応受信機の普及活動を、現状よりも規模を拡大し行っていただくことを要望、その際には、これまでの全国一律のキャンペーンに加えて、地域のリスナーによりアピール出来るよう、各エリア毎のキャンペーンも企画していただくよう要望します

- FM転換の最大の課題であるワイドFM対応受信機の普及（特にカーラジオ）について、放送事業者と連携し、広く国民を対象としたキャンペーンを継続的に実施する等の取り組みを要望します

- 防災対策として、希望者への無料配布、備蓄促進等、ワイドFM受信機の普及促進活動

④ ワイドFM（FM補完放送）周知広報活動への支援

- 現在、毎年春に総務省が実施している「ワイドFMキャンペーン」を行う際には、地域のリスナーに、よりアピール出来るよう、各エリア毎のキャンペーンも企画していただくよう要望します

- AM局の停波について、聴取者へ向けて、放送事業者側でも周知活動を実施しますが、国も積極的に周知広報に取り組んで頂ける様、お願いしたい

- FM転換で重要な課題であるワイドFM（FM補完放送）の社会全体の周知について、キャンペーン等、周知広報の継続的な実施や放送事業者への支援を要望します

- AM停波は国策ではなく個社の都合によるものですが、国の方でも国民への周知協力を要望します

- FM転換の最大の課題であるワイドFMの周知広報について、放送事業者と連携しながら、これまで以上に、広く国民を対象としたキャンペーンの実施等の取り組みを要望します